

あなたの周りの出来事や
身近な話題をお待ちしています

かっこいいF-15ができたかな

芦屋歴史の里・ペーパークラフトF-15をつくろう

8月3日、芦屋歴史の里で紙で飛行機をつくる、ペーパークラフト教室があり、町内外から20人の参加者がありました。これは、歴史の里特別展「芦屋にみる飛行機の進歩展」(7/15～11/30)の催しの一環で、主力ジェット戦闘機「F-15」を小さくデザインされた設計図を使って、かわいい模型をつくります。参加した藤井奏真さん、柘真さん(山鹿小学校)は「飛行機が大好きなので、とても楽しいです」と話していました。



五感を使って夏野菜・干し物を描こう

佐藤篤展ワークショップ・楽しい水彩画

8月22日、ギャラリーあしやで、県児童画展の審査員で、自身も絵を描き続けている佐藤篤さんの水彩画ワークショップがありました。「見えるものすべて美です。見る目を育てましょう」と佐藤さん。教え子だったという今川美保さん(山鹿)は「同級生と来ました。27年ぶりに教えてもらっています」と楽しそうに絵を描いていました。



空をみることができた、うれしかった

芦屋基地とブルーインパルス

7月19日、山鹿公民館で元ブルーインパルス(以下、ブルー)隊員の乃万剛一さんによる講演会が行われました。3年前の東日本大震災後の復旧支援が続く中、「こんなときに飛んでいていいのか」という葛藤があったこと、松島基地に戻るころにはブルーのメンバーの半数以上が芦屋で育った者になったこと、芦屋基地周辺の皆さんのおかげでブルーが復活でき、東北に元気で勇気を届けることができたことなどを話されました。



少しずつ泳げるようになったよ

芦屋町体育協会・初心者水泳教室

7月28日から8月1日までの5日間、山鹿小学校のプールで初心者水泳教室があり、73人が参加しました。40年以上、芦屋町で指導を続けている日本体育協会公認水泳指導者の島勝洋さん(正門町)の指導を受けた中野絢葉ちゃん(山鹿小学校)は「泳げるようになってアクアシアンでいっぱい遊びたいです」と話していました。



いもじ 気分は鋳物師

芦屋釜の里・夏休み鋳物づくり体験

7月23日から8月9日までの期間中、芦屋釜の里で夏休み鋳物作り体験がありました。鋳物工房がある芦屋町ならではの取り組みです。参加したのは5人の小学生。暑い夏に、熱い焔にむかい、数日かけて作った鋳型に金属を流し込む貴重な体験をしました。参加した大塚光晟さん(山鹿小学校)は、「鋳込みは緊張したけれど、きれいな作品ができあがりうれしいです」と話してくれました。



は 先祖への思いを馳せて踊りましょう

戦没者慰霊町民盆踊り

8月16日、中央公園で戦没者慰霊の町民盆踊りが行われました。これは、太平洋戦争などで犠牲となった400人以上にもおよぶ芦屋町出身戦没者の霊を慰めるもので、大人から子どもまで多くの人が参加して、炭坑節や芦屋音頭、芦屋サンバを踊りました。また、芦屋町はねそ保存会の皆さんにより、200年以上も前から盆供養として踊られていた、県指定無形民俗文化財に指定されている「はねそ」の披露も行われました。



安全に遊ぶためには潮の流れを知ろう

ライフセービング教室

8月8日、芦屋海水浴場で、玄海ライフセービングクラブによるライフセービング教室が開かれ、町内外から7人の小学生が参加しました。楽しく海で遊ぶためには、安全が一番です。沖に流されそうになったら、流れに逆らわず、岸に沿うように泳ぎ、危険を回避する方法や、ウミガメの赤ちゃんが安心して海に帰れるように自然を大切にすることなどを学んでいました。また、レスキューボードに乗る体験もあり大いに楽しんでいました。



Hello、ハロー、こんにちは

山鹿公民館・子ども英会話教室

夏休み期間中、山鹿公民館で子ども英会話教室が開講され、町内3小学校の9人が参加しました。講師の縄田美智子さん(柏原)は、オーストラリアに語学留学をし、英語に慣れ親しみました。英語を話す楽しさを芦屋の子どもたちにも体験してもらいたいと、昨年からは夏休みの間だけ教えています。参加した大坪洋介さん(芦屋小学校)は、「簡単なあいさつなら英語でできるよ。もっと話せるようになりたいな」と、楽しそうに話していました。